

「土器からみた3世紀の播磨」

弥生時代から古墳出現期の3世紀、播磨地域の土器には近畿から山陰、瀬戸内、四国地域など他地域との活発な交流がみられます。この交流の背景にある社会変動を探ります。

着目点は3点。①どこからどのような土器が来ているか、②土器から読み取れる交流の実態とは何か、③交流先に播磨内部の地域差があるか、などを主要河川流域ごとの報告から考えます。

日時：2019年2月11日(月・祝) 10:00～

会場：姫路市教育会館（兵庫県姫路市飾磨区清水2丁目128）
山陽電鉄「飾磨駅」北東へ徒歩10分

参加：自由参加。参加費（資料代込み1000円）

日 程 開場 9:00 開会 10:00～16:40（予定）

基調講演

10:10～「土器の動き、ヒトの動き—古墳出現期の地域社会とヤマト王朝」
森岡秀人（関西大学大学院非常勤講師）

報 告

11:30～「千種川流域」山中良平（赤穂市教育委員会）

昼休憩

13:00～「揖保川流域」堀 寛之（宍粟市教育委員会）

13:25～「市川流域」渡瀬健太（兵庫県立考古博物館）

14:00～「加古川流域」藤原光平（加東市教育委員会）

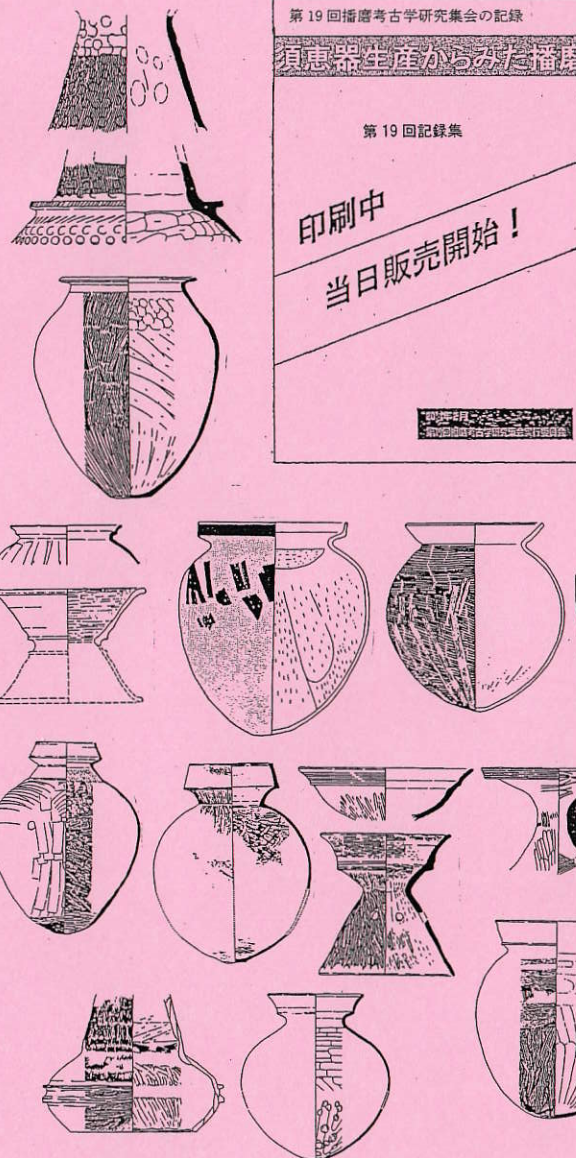
14:25～「明石川流域」多賀茂治（兵庫県立考古博物館）

シンポジウム（15:10～16:40 予定）

「土器交流からみた3世紀の播磨」

パネラー：基調講演者＋報告者＋会場参加者

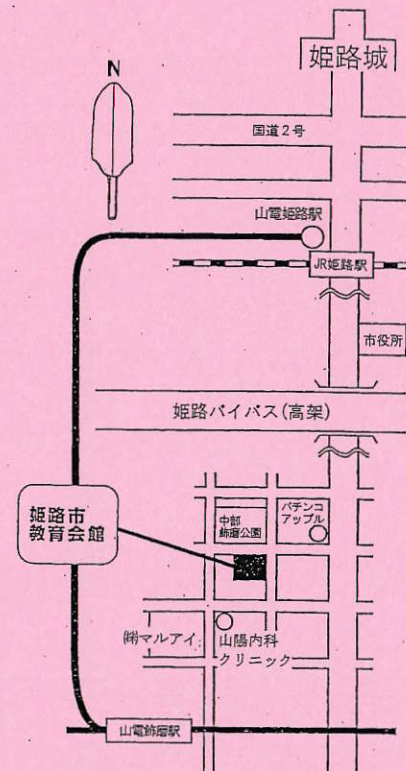
※当日資料集（約260頁）は播磨の他地域系土器などを掲載しています。



待望の新刊！当日販売開始

第19回記録集『須恵器生産からみた播磨』（予価1000円）

播磨の須恵器生産を論じた研究会講演録の書下し、シンポジウムの記録です。



山陽電鉄飾磨駅下車、東口から北東へ徒歩約10分
駐車場は狭小です。公共交通をご利用ください。

播磨考古学研究会 検索

問い合わせ
第20回播磨考古学研究会実行委員会
（事務局：090-3675-5125）